

平成28年度 三次郷心会 役員会・交流会開催

本年度の通常役員会が、11月28日(月)、グランラセーレ三次にて開催されました。交流会には高岡三次市副市長、広島県議会議員阿保秘書、新家三次市議会副議長、細川会頭も加わり、34名の出席者のもと開催されました。

役員会では、平成28年度事業経過報告と中間収支報告、および平成28年度下期活動案が承認されました。交流会では、御来賓の挨拶の後、新家副議長による乾杯のご発声で始まり、あちこちで活発な歓談が交わされ、大変盛り上がっていました。

諸般のご事情で今回欠席となられた役員様には、次回は是非とも出席されますよう、お願い致します。



三次・庄原郷心会合同見学会を実施

11月9日(水)、三次・庄原郷心会合同見学会を三次郷心会14名、庄原郷心会16名の参加のもと実施しました。今回は、千光寺公園視察、その後、四国随一のパワースポット、大山紙神社を参拝しました。



千光寺公園では、見事な菊花壇で鮮やかに彩られた作品にみなさん見惚れていらっしゃいました。天候にも恵まれ、急な坂道も苦にせず千光寺にもお参りをされていました。途中、展望台から眺める瀬戸内の海、尾道市街は絶景でした。

大山紙神社は、山神社の総本社とされるそうで、日本の初代総理大臣の伊藤博文、旧帝国海軍連合艦隊司令長官の山本五十六をはじめとして、政治や軍事の第一人者たちの参拝時の写真を観ながら、説明に聞き入っておられました。現在でも、海上自衛隊・海上保安庁の幹部などの参拝があるそうです。

また、今回の見学会の予定が、急遽、変更になりましたことを深くお詫び申し上げます。

新型「CX-5」を世界初公開

2016年11月16日、マツダ(株)は、米国ロサンゼルスモーターショーにて新型「CX-5」を世界初公開しました。

新型「CX-5」は、今マツダがもつデザインと技術の全てを磨き上げたクロスオーバーSUV。2017年2月より、日本から順次グローバルに導入を開始する予定です。新型「CX-5」の開発では、同乗者も含めた「全てのお客様を笑顔にするSUV」をキーワードに、マツダが一貫して追求する走る喜びのさらなる深化に挑戦しました。

車両運動制御技術「SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS(スカイアクティブビークルダイナミクス)」の第一弾「G-ベクタリングコントロール」を搭載すると同時に、人の感性に沿ったクルマづくりにより、ドライバーの意のままのパフォーマンスフィールと、高い静粛性や乗り心地など同乗者の快適性を両立する走行性能を実現しています。

また、「魂動デザイン」のもと艶やかさと精悍さを融合させた外観と、乗員が心地よさを感じられる内装をつくり上げ、ボディカラーには魂動デザインの造形美を質感高く際立たせる新開発の「ソウルレッドクリスタルメタリック」を初めて採用しました。(別項参照)

パワートレインには、「SKYACTIV-G2.0」、「SKYACTIV-G2.5」、「SKYACTIV-D2.2」を市場ごとに適切なラインアップで展開し、いずれも力強いリニアな走行性能と優れた環境性能を実現します。

マツダは今後も、お乗りいただく全てのお客様に走る喜びをお届けすることで、お客様の人生をより豊かにし、お客様と特別な絆で結ばれたブランドになることを目指してまいります。



魂動デザインを象徴する新しいボディーカラー「ソウルレッドクリスタルメタリック」を開発 ーソウルレッドプレミアムメタリックを進化させた新色、「マツダ CX-5」から採用ー

マツダ(株)(以下、マツダ)は、デザインテーマ「魂動(こどう)-Soul of Motion」を象徴する新しいボディーカラー「ソウルレッドクリスタルメタリック」を開発しました。新型「マツダ CX-5」に初採用し、それ以降、新型車種や既存車種にも順次展開していく予定です。

マツダは、「カラーを造形の一部」という思想の下、魂動デザインの造形美を質感高く際立たせるカラーの開発に力を入れています。「ソウルレッドクリスタルメタリック」は、生命感溢れるエネルギーな強さと鮮やかさ、濁りのない深みと艶感をより高い次元で両立させたソウルレッドプレミアムメタリックを進化させた新色です。ソウルレッドプレミアムメタリックより、彩度を約2割、深みを約5割増したことで、より瑞々しく艶やかな透明感を実現しました。

塗膜層は、クリア層、透過層、反射層というシンプルな3層構成としつつ、マツダ独自の塗装技術「匠塗 TAKUMINURI」をさらに進化させました。

透過層には、新開発の高彩度な赤色の顔料を用いることで、赤色をよりピュアに発色させています。反射層には、極薄の高輝度アルミフレークに加えて、光を吸収してシェードの濃さを強める「光吸収フレーク」を採用することで、従来は2層必要だった深みの表現を1層で実現しました。また、アルミフレークのサイズを均一化するとともに、塗装の精度向上と乾燥工程で塗膜の体積を収縮させる手法により、アルミフレークと光吸収フレークのボディ面への均等かつ平滑な分布を実現し、より緻密に光の反射をコントロールさせています。これにより、ハイライトの鮮やかさとシェードの深みを大幅に向上させました。

「ソウルレッドクリスタルメタリック」は、こうした発色と機能を集約させる塗膜設計技術により、通常より多くの塗膜層を必要とする高意匠カラーをシンプルな層構成で実現することで、マツダが継続的に取り組んでいる環境に優しい塗装ラインでの生産を実現しています。

マツダは、今後も「カラーも造形の一部」という思想の下、新しいカラー表現やそれを表現する塗装技術を積極的に追求し、お客様と特別な絆を持つブランドを目指していきます。



<ソウルレッドクリスタルメタリック塗膜構成>

米国環境保護庁(EPA)燃費トレンドレポートの「企業平均燃費値」で4年連続1位獲得

マツダ株式会社(以下マツダ)は、このたび、米国環境保護庁(EPA)が11月2日に公表した2015モデルイヤー車の「燃費トレンドレポート」においてマツダの企業平均燃費値が総合1位であったと発表しました。マツダの総合1位獲得は4年連続となります。

EPAの「燃費トレンドレポート」は、当各該モデルイヤーとして米国で発売された車種の燃費動向をまとめたもので、各社別に企業平均燃費実績値を集計した結果などが公表されています。マツダの2015モデルイヤー車総合の平均燃費は、29.6mpg(マイル毎ガロン)で、前年比0.2mpgの改善となりました。

マツダはすべてのお客様に「走る喜び」と「優れた環境・安全技術」をお届けすることを目指し、エンジン、トランスミッション、ボディ、シャシーの革新的新世代技術「SKAACTIVTECHNOLOGY(スカイアクティブテクノロジー)」を開発し、幅広く商品に展開しています。この継続的取り組みが企業平均燃費値の4年連続総合1位という結果につながったと考えています。

マツダは、今回の結果を励みに、さらなる環境技術の向上に取り組み、地球環境に優しい商品・技術の継続的な導入により、お客様との絆を深め、ブランド価値の向上に努めてまいります。

新会員様ご紹介のお願い

三次郷心会では郷心会活動の一層の前進を目指し、新会員を募集しております。ご紹介いただける場合、気軽に三次郷心会事務局までご連絡ください。

郷心会の本年度のスローガン

広めよう郷心会の和

- ・郷心会の活動にもっとみなさん参加しよう。
- ・会員同士の繋がりをもっと強化していこう。
- ・郷心会の活動をもっと地域に発信しよう

本紙に関してのお問合せ、またご意見等は、下記宛にお願いします。

三次郷心会 事務局 西、上馬場 まで 〒728-0021 三次市三次町 1843-1 三次商工会議所ビル内

TEL:0824-63-0673 FAX:0824-63-3064 e-mail: nishi.t@mazda.co.jp